

APN・アジア防災センター・JICA関西・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科共催フォーラム

気候変動×防災

～SDGsの観点からサステイナブル・リカバリーを考える～

近年、想定を超える気象災害が各地で頻発し、気候変動はもはや「気候危機」と言われる中、2020年6月、内閣府防災担当と環境省は「気候変動対策」と「防災・減災対策」を効果的に連携して取り組む戦略として『気候変動×防災』を公表しました。

兵庫県では、気候変動の影響を最小限とするため、気候変動の緩和策（温室効果ガスの削減を通じた2050年までの脱炭素社会への移行推進）と、気候変動の適応策（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）を一体的に推進してきました。

今私たちは、阪神・淡路大震災の経験を始めとする様々な災害の経験や、SDGs（持続可能な開発）の理念を踏まえ、次の災害により強いリカバリーのあり方（復興過程）を考えていくことが求められています。

このたび、『気候変動×防災』をテーマとし、広く県民の皆様にも、SDGsの観点からサステイナブル・リカバリー（持続可能な復興）を考えていただく機会を提供するため、本フォーラムを開催します。

日時

令和4年2月13日（日）13:00～16:30

大学生、留学生
大歓迎！

会場

ラッセホール2階 ブランシュローズ
オンライン（Zoom）同時開催

定員

会場60名、オンライン300名（先着順）

参加費無料、日英同時通訳

プログラム (敬称略)

【第1部】講演「サステイナブル・リカバリーを考えたまちづくり」

国の気候変動適応施策の動向	塚田 源一郎 (環境省地球環境局総務課気候変動適応室長)
兵庫県の気候変動適応策	上西 琴子 (兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課長)
SDGsの視点に立った 災害に強いまちづくり	田畑 智博 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授)
レジリエントな住まい方	馬場 美智子 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)

【第2部】講演「地域コミュニティ」

地区防災計画を通した 誰にもやさしい地域づくり	阪本 真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)
災害に強いコミュニティ (フィリピンのケーススタディ)	ジェラルド・ポトゥタン (アジア防災センター主任研究員)
災害に強いコミュニティ (インドネシア・バンダアチェのケーススタディ)	ナフィサ・イスマイル (APNセンタープログラムオフィサー)
途上国におけるコミュニティ防災 を支える人材育成	鍛冶澤 千重子 (JICA関西業務第一課 / 国際防災研修センター(DRLC) 課長)

会場案内 (ラッセホール) 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

- ・神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、徒歩5分
- ・JR・阪神「元町駅」下車 東改札口 北へ、徒歩8分
- ・JR「三ノ宮駅」、阪急・阪神「神戸三宮駅」下車、徒歩15分

新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催のみとなる場合がありますのでご了承ください。



申込方法：①又は②いずれかの方法でお申し込みください。

- ① QRコード：いずれのQRコードにアクセスいただき、参加申込フォームにご記入のうえ、送信してください。

【会場参加】の方はこちら→



【オンライン参加】の方はこちら→



- ② E-Mail (又はFAX)：1.氏名(ふりがな) 2.参加方法(会場・オンライン)
3.所属等 4.連絡先(E-Mail、TEL) 5.住所(任意) 6.年代(任意)をご記入のうえ、
apnseminar@gmail.com (又は FAX 078-230-8018) まで送信してください。

申込締切 令和4年2月7日(月)

お申込みいただいた方には、確認メール(又はFAX)をお送りします。
2月8日(火)までに確認メール(又はFAX)が届いていない場合は、下記にお電話ください。

新型コロナウイルス感染予防対策にご理解とご協力をお願いします！

- 当日は事前に自宅で体温測定し、発熱や風邪症状、体調不良などがあれば参加をお控えください。
- マスク着用、手指消毒、咳エチケットへのご協力をお願いします。
- 会場では【兵庫県新型コロナ追跡システム】のご登録(メールまたはLINE)をお願いします。
- 【新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)】のご利用を推奨しています。

問合せ先 アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)
E-Mail: apnseminar@gmail.com TEL:078-230-8017